

5.12. 2 施設の存在に伴う影響の予測・評価

(1) 予測内容

施設の存在に伴う影響として、建築物の出現が、事業計画地周辺の景観に及ぼす影響について、現地調査結果及び事業計画等をもとに予測した。

予測内容は表 5-12-3 に示すとおりである。

主要眺望地点からの眺望の変化の程度については、建築物等の出現による景観の変化を視覚的にとらえるために、現況調査において選定した主要眺望地点 9 地点からの景観について、事業計画に基づき、事業完了後のフォトモンタージュを作成し、予測した。

表 5-12-3 予測内容

予測項目	予測地点	予測時点	予測方法
建築物等の出現による主要眺望地点からの眺望の変化の程度	主要眺望地点 ：9 地点	施設完成後	フォトモンタージュ法により将来景観モンタージュを作成し予測

(2) 予測結果

各主要眺望地点からの、現況の景観写真、施設完成後の景観予測図及び景観の変化の程度は図 5-12-2～10 に示すとおりである。

なお、予測にあたっては、事業計画地近傍で現在建築中の大規模建築物である大阪駅開発プロジェクト（新北ビル工事等）及び梅田阪急ビル建替事業、ならびに事業計画地北西側に建築予定の高層マンションについても考慮し、それらの概ねのイメージを景観予測図に示した。

【現 況】



図 5-12-2(1) 阪急中津駅神戸線ホームからの景観（現況）

【施設完成後】



注：規模、形状、意匠等の詳細は未定であるため、現時点で想定している計画内容を示した。また、事業計画地北西側に建築予定の高層マンション（本計画建物手前の建物）及び大阪駅開発プロジェクトの建物（本計画建物左奥の建物）の概形を示した。

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	1
地 点 名	阪急中津駅神戸線ホーム
<p>施設完成後には、事業計画地北西側に建設される予定のマンション越しに、B地区及びA地区の建物が出現する。しかし周辺は市街地であり、大規模な建築物が分布していること、計画建物の外観・色彩については、周辺と調和したものとする計画であることから、景観に違和感を与えることはないと考えられる。また、事業計画地は大阪駅前にあたることから、計画建物の外観・色彩等については、大阪駅前のシンボル・顔となる風格のあるものとし、大阪の都心にふさわしい新たな景観の創出にも寄与するよう計画している。</p>	

図 5-12-2(2) 阪急中津駅神戸線ホームからの景観（施設完成後）

【現 況】



図 5-12-3(1) ヨドバシ梅田北側道路からの景観（現況）

【施設完成後】



注：規模、形状、意匠等の詳細は未定であるため、現時点で想定している計画内容を示した。事業計画地周辺道路の植栽についても詳細は未定であるため、概ねのイメージを示した。

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	2
地 点 名	ヨドバシ梅田北側道路
<p>施設完成後には、A・B両地区間を東西に走る道路の両側に、A地区及びB地区の建物が出現し、道路上にはA・B地区間の連絡デッキができる。しかし計画建物については、中層部から高層部をセットバックし、圧迫感を軽減した計画としていること、計画建物の外観・色彩については、周辺と調和したものとする計画であることから、景観に違和感を与えることはないと考えられる。また、事業計画地は大阪駅前にあたることから、計画建物の外観・色彩等については、大阪駅前のシンボル・顔となる風格のあるものとし、また、道路沿いには植栽を施し、大阪の都心にふさわしい新たな景観の創出にも寄与するよう計画している。</p>	

図 5-12-3(2) ヨドバシ梅田北側道路からの景観（施設完成後）

【現 況】



図 5-12-4(1) 大阪駅中央北口前からの景観（現況）

【施設完成後】



注：規模、形状、意匠等の詳細は未定であるため、現時点で想定している計画内容を示した。事業計画地周辺道路の植栽についても詳細は未定であるため、概ねのイメージを示した。

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	3
地 点 名	大阪駅中央北口前
<p>施設完成後には、道路の左手に、A地区及びB地区の建物が出現する。しかし計画建物については、中層部から高層部をセットバックし、圧迫感を軽減した計画としていること、計画建物の外観・色彩については、周辺と調和したものとする計画であることから、景観に違和感を与えることはないと考えられる。また、事業計画地は大阪駅前にあたることから、計画建物の外観・色彩等については、大阪駅前のシンボル・顔となる風格のあるものとし、また、道路沿いには植栽を施し、大阪の都心にふさわしい新たな景観の創出にも寄与するよう計画している。</p>	

図 5-12-4(2) 大阪駅中央北口前からの景観（施設完成後）

【現 況】



図 5-12-5(1) 計画地西側新設道路からの景観（現況）

【施設完成後】



注：規模、形状、意匠等の詳細は未定であるため、現時点で想定している計画内容を示した。事業計画地周辺道路の植栽についても詳細は未定であるため、概ねのイメージを示した。また、事業計画地北西側に建築予定の高層マンション（本計画建物左奥の建物）の概形を示した。

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	4
地 点 名	計画地西側新設道路
<p>施設完成後には、道路の右側に、A地区及びB地区の建物が出現する。しかし計画建物については、中層部から高層部をセットバックし、圧迫感を軽減した計画としていること、計画建物の外観・色彩については、周辺と調和したものとする計画であることから、景観に違和感を与えることはないと考えられる。また、事業計画地は大阪駅前にあたることから、計画建物の外観・色彩等については、大阪駅前のシンボル・顔となる風格のあるものとし、また、道路沿いには植栽や水景を配置し、大阪の都心にふさわしい新たな景観の創出にも寄与するよう計画している。</p>	

図 5-12-5(2) 計画地西側新設道路からの景観（施設完成後）